



BEA WebLogic Platform™

サポート対象プラット
フォーム

リリース 7.0 サービスパック 2
マニュアルの日付 : 2003 年 2 月
改訂 :

著作権

Copyright © 2003 BEA Systems, Inc. All Rights Reserved.

限定的権利条項

本ソフトウェアおよびマニュアルは、**BEA Systems, Inc.** 又は日本ビー・イー・エー・システムズ株式会社（以下、「**BEA**」といいます）の使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができ、同契約の条項通りにのみ使用またはコピーすることができません。同契約で明示的に許可されている以外の方法で同ソフトウェアをコピーすることは法律に違反します。このマニュアルの一部または全部を、**BEA** からの書面による事前の同意なしに、複製、複製、翻訳、あるいはいかなる電子媒体または機械可読形式への変換も行うことはできません。

米国政府による使用、複製もしくは開示は、**BEA** の使用許諾契約、および **FAR 52.227-19** の「**Commercial Computer Software-Restricted Rights**」条項のサブパラグラフ (c) (1)、**DFARS 252.227-7013** の「**Rights in Technical Data and Computer Software**」条項のサブパラグラフ (c) (1) (ii)、**NASA FAR 補遺 16-52.227-86** の「**Commercial Computer Software-Licensing**」条項のサブパラグラフ (d)、もしくはそれらと同等の条項で定める制限の対象となります。

このマニュアルに記載されている内容は予告なく変更されることがあり、また **BEA** による責務を意味するものではありません。本ソフトウェアおよびマニュアルは「現状のまま」提供され、商品性や特定用途への適合性を始めとする（ただし、これらには限定されない）いかなる種類の保証も与えません。さらに、**BEA** は、正当性、正確さ、信頼性などについて、本ソフトウェアまたはマニュアルの使用もしくは使用結果に関していかなる確約、保証、あるいは表明も行いません。

商標または登録商標

BEA、**Jolt**、**Tuxedo**、**WebLogic** は **BEA Systems, Inc.** の登録商標です。**BEA Builder**、**BEA Campaign Manager for WebLogic**、**BEA eLink**、**BEA Manager**、**BEA WebLogic Commerce Server**、**BEA WebLogic Enterprise**、**BEA WebLogic Enterprise Platform**、**BEA WebLogic Express**、**BEA WebLogic Integration**、**BEA WebLogic Personalization Server**、**BEA WebLogic Platform**、**BEA WebLogic Portal**、**BEA WebLogic Server**、**BEA WebLogic Workshop** および **How Business Becomes E-Business** は、**BEA Systems, Inc.** の商標です。

その他の商標はすべて、関係各社がその権利を有します。

サポート対象プラットフォーム

パート番号	マニュアルの日付	ソフトウェアのバージョン
なし	2003年2月	7.0 サービスパック2

目次

BEA WebLogic Platform のサポート対象プラットフォーム

重要なサポート情報.....	2
WebLogic Platform 実行時コンポーネントの	
サポート対象プラットフォーム	3
リリース 7.0 のサポート対象プラットフォーム	4
サービスパック 1 のサポート対象プラットフォーム.....	6
サービスパック 2 のサポート対象プラットフォーム.....	10
BEA EDI Connect for WebLogic Inegration Server リリース 7.0 のサポ ート対象プラットフォーム.....	14
BEA EDI Connect for WebLogic Inegration Server リリース 7.0 SP1 のサ ポート対象プラットフォーム.....	15
BEA EDI Connect for WebLogic Inegration Server リリース 7.0 SP2 のサ ポート対象プラットフォーム.....	16
WebLogic Platform の設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム	17
リリース 7.0 GA の設計開発ツールのサポート対象開発プラットフォーム	18
サービスパック 2 の設計開発ツールのサポート対象開発プラットフォーム	26
サポート対象データベースおよびドライバ	31
リリース 7.0 のサポート対象データベースおよびドライバ	33
サービスパック 1 のサポート対象データベースおよびドライバ.....	36
サービスパック 2 のサポート対象データベースおよびドライバ.....	40
サポート対象 Web サーバ.....	44
リリース 7.0 のサポート対象 Web サーバ.....	44
サービスパック 1 のサポート対象 Web サーバ	45
リリース 7.0 SP2 のサポート対象 Web サーバ	46
サポート対象 Web ブラウザ	48

サポート対象ファイアウォール.....	48
ディスク スペース要件.....	49
以前のリリースのサポート対象プラットフォーム.....	51
日本語環境における動作確認について	
WebLogic Platform 7.0 SP1 の日本語環境における動作確認状況.....	2
WebLogic Platform 7.0 SP2 の日本語環境における動作確認状況.....	4
WebLogic Platform 7.0 SP4 の日本語環境における動作確認状況.....	6

BEA WebLogic Platform のサポート対象プラットフォーム フォーム

BEA WebLogic Server™、BEA WebLogic Portal™、BEA WebLogic Integration™をはじめとする BEA 製品は、世界中で数千の顧客による利用実績を誇ります。BEA WebLogic Platform には、それら BEA 製品で培われたアプリケーションインフラストラクチャテクノロジーが搭載されています。これらのテクノロジーは BEA WebLogic Workshop™ と統合され、アプリケーションの開発、デプロイメント、および管理のための使いやすい統合インフラストラクチャプラットフォームとして提供されています。

以降の節では、WebLogic Platform コンポーネントの重要なサポート情報、およびサポート対象のハードウェアとソフトウェアのプラットフォームを示します。

- 重要なサポート情報
- WebLogic Platform 実行時コンポーネントのサポート対象プラットフォーム
 - リリース 7.0 のサポート対象プラットフォーム
 - サービスパック 1 のサポート対象プラットフォーム
 - サービス パック 2 のサポート対象プラットフォーム
- WebLogic Platform の設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム
- サポート対象データベースおよびドライバ
- サポート対象 Web サーバ
- サポート対象 Web ブラウザ
- サポート対象ファイアウォール
- ディスク スペース要件
- 以前のリリースのサポート対象プラットフォーム

重要なサポート情報

BEA は、多数のプラットフォーム、Java 仮想マシン (JVM)、およびオペレーティング システム コンフィグレーションを認定しています。BEA は、厳しい内部テストに合格したプラットフォームだけを認定します。特定の SDK、オペレーティング システム、およびハードウェアプラットフォームに起因する問題のために、一部の環境で WebLogic Platform の動作が保証されない場合があります。

弊社のソフトウェアは、各種プラットフォームおよびさまざまな Java 環境においてテストされています。弊社のマルチプラットフォームテスト プログラムを通して、一部の Java 環境でのみ表面化するバグを検出することにより、高品質のソフトウェアを実現しています。WebLogic Platform 内で検出されたバグを修正する過程で、特定の Java 環境や基幹オペレーティング システムのバグを発見することもあります。このようなバグを発見した場合、それをベンダに報告し、問題解決に向けて取り組みます。また、自社ソフトウェアのバグにも対処します。一部のプラットフォームに関しては、WebLogic Platform の正常な稼働のために必要な、JVM の特定バージョンやオペレーティング システムのパッチを指定しています。

このマニュアルに記載されているプラットフォームに対してのみ、認定および完全なサポートを行います。さらに多くのプラットフォームを認定するために作業を進めています。この Web ページに記載されていないプラットフォームに関する情報については、販売窓口にお問い合わせください。

認定されたプラットフォームのみを使用して WebLogic Platform アプリケーションをデプロイすることを強くお勧めします。また、Sun Microsystems の Web サイトで、技術情報や、Sun が推奨するやパッチを定期的に確認してください。特に断りのない限り、お使いのプラットフォームで使用可能な、BEA 認定の JVM の最新バージョンを使用するようお勧めします。認定されたコンフィグレーションを使っても、アプリケーション実行中にオペレーティング システムや JVM の問題が発生する場合があります。推奨されている最新のオペレーティング システム、および JVM のパッチがある場合はそのパッチを、お使いのプラットフォームに必ずインストールしてください。特に断りのない限り、認定されたプラットフォームと JVM はすべて弊社の内部テストに合格したものです。

注意： BEA WebLogic Server でサポートされるプラットフォームの詳細については、『動作確認状況』を参照してください。

<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/certifications/certifications/index.html>

WebLogic Platform 実行時コンポーネントの サポート対象プラットフォーム

この節では、WebLogic Platform 7.0、WebLogic Platform 7.0 Service Pack 1 (SP1) および WebLogic Platform 7.0 Service Pack 2 (SP2) の実行時コンポーネントでサポートするプラットフォームの一覧を示します。

サポート対象プラットフォーム	リリース	参照
WebLogic Platform のすべての実行時コンポーネント : WebLogic Server、WebLogic Workshop、WebLogic Portal および WebLogic Integration	7.0	表 1
	7.0 SP1	表 2
	7.0 SP2	表 3
BEA EDI Connect for WebLogic Integration 用の実行時 コンポーネント (EDI Connect は別途購入可能なオブ ジョン コンポーネントです)	7.0	表 4
	7.0 SP1	表 5
	7.0 SP2	表 6

注意： WebLogic Server などの個々のコンポーネントは、他のコンポーネントでサポートされていないプラットフォームでサポート上でサポートされる場合があります。全コンポーネントにおけるサポート例外は、各表で確認できます。

リリース 7.0 のサポート対象プラットフォーム

表 1. WebLogic Platform 7.0 (GA リリース) 実行時コンポーネントのサポート対象プラットフォーム

オペレーティング システムとバージョン	必要な JDK	ハードウェアとソフトウェアの要件	DBMS 詳細については、サポート対象データベースおよびドライバを参照してください。
Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降 ¹	JDK 1.3.1_03 ²	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i ■ SQL Server 2000 ■ PointBase 4.2³
Microsoft Windows 2000 Advanced Server	JDK 1.3.1_03 ²	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i ■ SQL Server 2000 ■ PointBase 4.2³
Microsoft Windows NT (Server) 4.0 + Service Pack 6 以降	JDK 1.3.1_03 ²	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i ■ SQL Server 7 SP3⁴ ■ SQL Server 2000 ■ PointBase 4.2³
<ul style="list-style-type: none"> ■ Sun Solaris 7 ■ Sun Solaris 8 	JDK1.3.1_03 ^{2,5,6}	<ul style="list-style-type: none"> ■ UltraSparc 5 以降 ■ Sparc 168 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i ■ PointBase 4.2³

表 1. WebLogic Platform 7.0 (GA リリース) 実行時コンポーネントのサポート対象プラットフォーム

オペレーティング システムとバージョン	必要な JDK	ハードウェアとソフトウェアの要件	DBMS 詳細については、サポート対象データベースおよびドライバを参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> ■ HP-UX 11.0 ■ HP-UX 11i⁷ (WebLogic Server でのみサポート。WebLogic Workshop 実行時コンポーネントを使用しない)	JDK 1.3.1_03 ²	<ul style="list-style-type: none"> ■ 100 MHz 以上の HP 9000 PA RISC ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i リリース 2 ■ PointBase 4.2³
Red Hat Linux 7.2 (WebLogic Server と WebLogic Workshop 実行時コンポーネントの組み合わせでの開発のみサポート)	JDK 1.3.1_03 ²	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降のプロセッサ ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 9i ■ PointBase 4.2³

1. 設計、開発およびアプリケーションの検証に対してサポートされます。プロダクション サーバのデプロイメントはサポートされません。

2. JDK 1.3.1_03 は、BEA WebLogic Platform にバンドルされ、BEA ホーム ディレクトリの下位に自動的にインストールされます。

3. PointBase は、コード サンプル実行用として WebLogic Platform に付属している、ピュア Java のリレーショナルデータベース管理システムです。これは設計、開発およびアプリケーションの開発に対してサポートされます。プロダクション サーバのデプロイメントはサポートされません。プロダクション環境で使うには、特別 PointBase プロダクション ライセンスを購入してください。

4. WebLogic Portal は SQL Server 7 をサポートしていません。

5. UNIX システム上では、WebLogic Portal は、Java HotSpot Server VM で Java 2 SDK, Standard Edition, バージョン 1.3.1 を使うようコンフィグレーションされます。詳細については、『WebLogic Portal 管理ガイド』の「System Administration」にある「Using the HotSpot Virtual Machine」を参照してください。
<http://e-docs.bea.com/wlp/docs70/admin/sysadmin.htm>

6. Solaris オペレーティング システムには、必ず最新の JDK 1.3.1_03 パッチを適用してください。詳細については、<http://java.sun.com/j2se/1.3/install-solaris-patches.html> を参照してください。

7. このプラットフォームで JVM を実行するには、あらかじめ HP 提供のパッチ GOLDAPPS11i および HWEEnable11i をインストールしておかなければなりません。

サービスパック 1 のサポート対象プラットフォーム

表 2. WebLogic Platform 7.0 SP1 実行時コンポーネントのサポート対象プラットフォーム

オペレーティング システムとバージョン	サポートする JDK	ハードウェアとソフトウェアの要件	DBMS 詳細については、サポート対象データベースおよびドライバを参照してください。
Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降 ¹ (開発のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_03² ■ JDK 1.3.1_04³ ■ JDK 1.3.1_06⁴ ■ WebLogic JRockit 7.0 SP1 SDK^{5,6} 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁷ ■ SQL Server 7 SP3⁸ ■ SQL Server 2000
Microsoft Windows 2000 Server +Service Pack 2 以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_03² ■ JDK 1.3.1_04³ ■ JDK 1.3.1_06⁴ ■ WebLogic JRockit 7.0 SP1 SDK^{5,6} 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁷ ■ SQL Server 7 SP3⁸ ■ SQL Server 2000
Microsoft Windows 2000 Advanced Server + Service Pack 2 以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_03² ■ JDK 1.3.1_04³ ■ JDK 1.3.1_06⁴ ■ WebLogic JRockit 7.0 SP1 SDK^{5,6} 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁷ ■ SQL Server 7 SP3⁸ ■ SQL Server 2000

表 2. WebLogic Platform 7.0 SP1 実行時コンポーネントのサポート対象プラットフォーム

オペレーティング システムとバージョン	サポートする JDK	ハードウェアとソフトウェアの要件	DBMS 詳細については、サポート対象データベースおよびドライバを参照してください。
Microsoft Windows NT (Server) 4.0 + Service Pack 6 以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_03² ■ JDK 1.3.1_04³ ■ JDK 1.3.1_06⁴ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁷ ■ SQL Server 7 SP3⁸ ■ SQL Server 2000
<ul style="list-style-type: none"> ■ Sun Solaris 7^{9, 10} ■ Sun Solaris 8^{9, 10} ■ Sun Solaris 9^{4, 9} 	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_03² ■ JDK 1.3.1_04³ ■ JDK 1.3.1_06⁴ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ UltraSparc 5 以降 ■ Sparc 168 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁷
<ul style="list-style-type: none"> ■ HP-UX 11.0 ■ HP-UX 11i¹¹ <p>(すべての WebLogic Platform コンポーネントでサポートされるようになった)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_05^{10, 12} ■ JDK 1.3.1_06 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 100 MHz 以上の HP 9000 PA RISC ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁷
<ul style="list-style-type: none"> ■ IBM AIX バージョン 4.3.3 ■ IBM AIX 5L バージョン 5.1 ML1 ■ IBM AIX 5L バージョン 5.1 ML2 	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1 32-bit PTF 1 (IY30887)^{10, 13} ■ JDK 1.3.1 32-bit RTF 2 (IY33957)¹⁰ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ pSeries: PowerPC、Power3、Power4 ■ 200 MHz 以上 <ul style="list-style-type: none"> —PowerPC: 200 MHz —POWER3: 450 MHz —POWER4: 1 GHz ■ 280 MB 以上の空き領域 ■ 512 MB RAM 以上 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DB2 7.2 ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9.i Release 2 ■ PointBase 4.2⁷

表 2. WebLogic Platform 7.0 SP1 実行時コンポーネントのサポート対象プラットフォーム

オペレーティング システムとバージョン	サポートする JDK	ハードウェアとソフトウェアの要件	DBMS 詳細については、サポート対象データベースおよびドライバを参照してください。
SuSE Linux for IBM zSeries/S390 ^{14, 15} 加えて、Kernel 2.4.7 (日付 05/21/02 以降のもの) にアップデートされた SuSE Linux Enterprise Server 7 for S/390 updated to が必要	JDK 1.3.1 Service Refresh 2 Special Build (APAR PQ63617) ¹⁶	<ul style="list-style-type: none"> ■ IBM S/390 G5 以降 ■ 180 MB 以上の空き領域 ■ 1 GB RAM 以上 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 9i Release 1 (Thin Driver) ■ Oracle 9i Release 2(Thin Driver) ■ DB2 7.2
Red Hat Linux 7.2 (開発のみ、すべての WebLogic Platform 実行時コンポーネントでサポート)	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_03^{2,10} ■ JDK 1.3.1_04³ ■ JDK 1.3.1_06⁴ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM 推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 2¹⁷ ■ PointBase 4.2⁷
Red Hat Linux Advanced Server 2.1	WebLogic JRockit 7.0 SP1 SDK ^{5,6}	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM 推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 2³ ■ PointBase 4.2⁷

1. 設計、開発およびアプリケーションの検証に対してサポートされます。プロダクション サーバのデプロイメントはサポートされません。
2. この Sun JDK は、WebLogic Platform にバンドルされ、BEA ホーム ディレクトリの下位に自動的にインストールされます。
3. WebLogic Server と WebLogic Portal でのみサポートされます。
4. WebLogic Server 7.0 SP1 でのみサポートされます。

5. WebLogic Workshop を WebLogic JRockit 7.0 SP1 で使用したい場合は、BEA カスタマ サポートの Web サイトよりパッチをダウンロードしてください。手順については、次の URL にある『*BEA WebLogic Platform リリース ノート*』の「Installing JRockit and the WebLogic Workshop Patch」を参照してください。

<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/platform/docs70/relnotes/index.html>

6. BEA WebLogic JRockit 7.0 SP1 SDK は Java 2 Standard Edition, version 1.3.1_06 で動作確認されています。

7. PointBase は、コード サンプル実行用として WebLogic Platform に付属している、ピュア Java のリレーショナル データベース管理システムです。開発に対してサポートされます。プロダクション環境で使うには、特別 PointBase プロダクション ライセンスを購入してください。

8. WebLogic Portal は SQL Server 7 をサポートしていません。

9. JDK 1.3.1_03 を Solaris オペレーティング システムで使用する場合は、最新の JDK 1.3.1_03 パッチをインストールする必要があります。詳細については、下記の URL を参照してください。

<http://java.sun.com/j2se/1.3/install-solaris-patches.html>

10. サポート対象の HP-UX および Solaris プラットフォーム (HP-UX 11.0, HP-UX 11, Solaris 7, Solaris 8) 上では、WebLogic Integration と WebLogic Portal は Java HotSpot Server VM で、Java 2 SDK, Standard Edition、バージョン 1.3.1 を使うようコンフィグレーションされます。Red Hat Linux 7.2 プラットフォーム上では、WebLogic Integration と WebLogic Portal は Java HotSpot Client VM を使うようコンフィグレーションされます。

IBM AIX プラットフォーム上では WebLogic Integration と WebLogic Portal は Java HotSpot Server VM も Client VM も使用せず、IBM JDK を使います。詳細については、『WebLogic Portal 管理者ガイド』の「システム管理」中の「HotSpot Virtual Machine の使用」を参照してください。このマニュアルは下記の URL でご覧になれます。

<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wlp/docs70/admin/sysadmin.htm>

11. このプラットフォームで JVM を動作させる前に、HP より配布される 2 つのパッチ (GOLDAPPS11i と HWEnable11i) を必ずインストールしてください。

12. この JDK の名称は HP-UX SDK 1.3.1.05 ですが、WebLogic Platform HP-UX インストーラでは 1.3.1.03 と表記されています。

13. JDK 1.3.1 32-bit PTF1 (IY30887) は BEA WebLogic Platform にはバンドルされていません。WebLogic Platform を IBM AIX システムにインストールする前に、別個にインストールしてください。JDK 1.3.1 32-bit PTF1 (IY30887) のインストール方法、またこの JDK を WebLogic Platform 7.0 SP1 とともに使用する場合は問題を修正する e-fix のダウンロードについては、『BEA WebLogic Platform リリース ノート』の「AIX Platform 上で WebLogic Platform を実行する」を参照してください。このマニュアルは下記の URL でご覧になれます。

<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/platform/docs70/relnotes/relnotes.html#aix>

14. WebLogic Server 7.0 SP1 と WebLogic Integration 7.0 SP1 でのみサポートされます。

15. Java™ 2 Runtime Environment Standard Edition (ビルド 1.3.1) Classic VM (build 1.3.1、J2RE 1.3.1 IBM ビルド cx390131-20020622 (JIT 有効:jitc)。ダウンロードの手順については、次の URL にある「IBM JVM Build APAR PQ63617 のダウンロード手順」を参照してください。

http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/certifications/certifications/suse_linux_s390.html

16. この IBM JVM (APAR PQ6361) 用のビルドは WebLogic Server 7.0 SP1 で必要となります。

17. BEA WebLogic Platform は Red Hat Linux 7.2 プラットフォーム上の開発用に全面的に動作確認されていますが、Oracle 8.1.7 および 9.2.0 release も同様に Red Hat Linux 7.2 では開発用 (設計、開発およびアプリケーションの検証) にのみサポートされます。Oracle は Red Hat Linux 7.2 上の Oracle 8.1.7 および 9.2.0 release の全面的な製品サポートを提供していません。

サービス パック 2 のサポート対象プラットフォーム

表 3. WebLogic Platform 7.0 SP2 実行時コンポーネントのサポート対象プラットフォーム

オペレーティング システムとバージョン	サポートする JDK	ハードウェアとソフトウェアの要件	DBMS 詳細については、サポート対象データベースおよびドライバを参照してください。
Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降 ¹	<ul style="list-style-type: none">■ JDK 1.3.1_06■ JDK 1.4.1²■ WebLogic JRockit 7.0 SP2 SDK³	<ul style="list-style-type: none">■ Intel Pentium II 以降■ 400 MHz 以上■ 512 MB RAM を推奨■ TCP/IP ネットワーク インタフェース	<ul style="list-style-type: none">■ Oracle 8.1.7■ Oracle 9i Release 1■ Oracle 9i Release 2■ PointBase 4.2⁴■ SQL Server 7 SP3⁵■ SQL Server 2000 SP1 および SP2⁶■ Sybase 12.5⁷

表 3. WebLogic Platform 7.0 SP2 実行時コンポーネントのサポート対象プラットフォーム

オペレーティング システムとバージョン	サポートする JDK	ハードウェアとソフトウェアの要件	DBMS 詳細については、サポート対象データベースおよびドライバを参照してください。
Microsoft Windows 2000 Server +Service Pack 2 以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_06 ■ JDK 1.4.1² ■ WebLogic JRockit 7.0 SP2 for SDK³ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 1 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁴ ■ SQL Server 7 SP3⁵ ■ SQL Server 2000 SP1 および SP2⁶ ■ Sybase 12.5⁷
Microsoft Windows 2000 Advanced Server + Service Pack 2 以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_06 ■ JDK 1.4.1² ■ WebLogic JRockit 7.0 SP2 for SDK³ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 1 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁴ ■ SQL Server 7 SP3⁵ ■ SQL Server 2000 SP1 および SP2⁶ ■ Sybase 12.5⁷
Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_06 ■ JDK 1.4.1² 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 1 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁴ ■ SQL Server 7 SP3⁵ ■ SQL Server 2000 SP1 および SP2⁶ ■ Sybase 12.5⁷

表 3. WebLogic Platform 7.0 SP2 実行時コンポーネントのサポート対象プラットフォーム

オペレーティング システムとバージョン	サポートする JDK	ハードウェアとソフトウェアの要件	DBMS 詳細については、サポート対象データベースおよびドライバを参照してください。
Microsoft Windows XP ¹	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_06 ■ JDK 1.4.1² 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 1 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁴ ■ SQL Server 7 SP3⁵ ■ SQL Server 2000 SP1 および SP2⁶ ■ Sybase 12.5⁷
<ul style="list-style-type: none"> ■ Sun Solaris 7⁸ ■ Sun Solaris 8⁸ ■ Sun Solaris 9⁸ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_06 ■ JDK 1.4.1² 	<ul style="list-style-type: none"> ■ UltraSparc 5 以降 ■ Sparc 168 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 1 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁴ ■ Sybase 12.5⁷
IA32 上の Red Hat Linux 7.2 ^{1,8} (すべての WebLogic Platform 実行時コンポーネントでサポート)	<ul style="list-style-type: none"> ■ JDK 1.3.1_06 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM 推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ PointBase 4.2⁴ ■ Sybase 12.5⁷
IA32 上の Red Hat Linux Advanced Server 2.1	WebLogic JRockit 7.0 SP2 SDK ³	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM 推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release 1 ■ Oracle 9i Release 2 ■ PointBase 4.2⁴ ■ Sybase 12.5⁷

1. 設計、開発およびアプリケーションの検証に対してサポートされます。プロダクション サーバのデプロイメントはサポートされません。

2. WebLogic Server 7.0 SP2 クライアントと WebLogic Workshop (実行時) 7.0 SP2 でのみサポートされま
す。この SDK は E-Business Control Center (WebLogic Portal クライアント) または WebLogic Integration ク
ライアントではサポートされません。
 3. BEA WebLogic JRockit 7.0 SP2 SDK は Java 2 Standard Edition、バージョン 1.3.1_06 で動作確認されて
います。
 4. PointBase は、コード サンプル実行用として WebLogic Platform に付属している、ピュア Java のリレー
ショナルデータベース管理システムです。これは設計、開発およびアプリケーションの開発に対してサポー
トされます。プロダクション サーバのデプロイメントはサポートされません。プロダクション環境で使う
には、特別 PointBase プロダクション ライセンスを購入してください。
 5. WebLogic Integration と WebLogic Portal は SQL Server 7 をサポートしていません。
 6. Microsoft for SQL Server 2000 SP2 で推奨されている適切なパッチを適用済みであることを確認してくだ
さい。詳細については、次の URL でご確認ください。 <http://support.microsoft.com>。
 7. WebLogic Integration と WebLogic Workshop ではサポートされません。
 8. Solaris 7、Solaris 8 および Solaris 9 では WebLogic Integration および WebLogic Portal は Java 2 Standard
Edition バージョン 1.3.1_06 with Java HotSpot Server VM を使用するようにコンフィグレーションされま
す。
- Red Hat Linux 7.2 プラットフォームでは、WebLogic Integration および WebLogic Portal は Java HotSpot
Client VM を使用するようにコンフィグレーションされます。

詳細については次の URL にある『WebLogic Portal 管理者ガイド』「システム管理」の「HotSpot Virtual
Machine の使用」を参照してください。
<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wlp/docs70/admin/sysadmin.htm>

BEA EDI Connect for WebLogic Inegration Server リリース 7.0 のサポート対象プラットフォーム

表 4. BEA EDI Connect for WebLogic Inegration Server のサポート対象プラットフォーム (WebLogic Platform 7.0 GA で使用可能)

サーバコンポーネント	オペレーティングシステムとバージョン	システム要件	サポート対象 DBMS
Power.Enterprise Server! version 3.1	<ul style="list-style-type: none">■ Windows NT 4.0■ Windows 2000■ Sun Solaris 7■ HP-UX 11■ AIX バージョン 4.3.3	<ul style="list-style-type: none">■ 最小 512 MB RAM、1 GB を推奨■ 100 MB のディスク空き容量	<ul style="list-style-type: none">■ Oracle 8i■ SQL Server 2000■ DB2 バージョン 7.1

BEA EDI Connect for WebLogic Inegration Server リリース 7.0 SP1 のサポート対象プラットフォーム

表 5. BEA EDI Connect for WebLogic Inegration Server のサポート対象プラットフォーム (WebLogic Platform 7.0 SP1 で使用可能)

サーバコンポーネント	オペレーティングシステムとバージョン	システム要件	サポート対象 DBMS
Power.Enerprise Server! version 3.1	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows NT 4.0 ■ Windows 2000 SP2 ■ Sun Solaris 7 ■ HP-UX 11 ■ AIX バージョン 4.3.3 ■ AIX 5L v5.1 ML1 ■ Red Hat Linux 7.2 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最小 512 MB RAM、1 GB を推奨 ■ 100 MB のディスク空き容量 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle 8.1.7 ■ SQL Server 2000 ■ DB2 バージョン 7.2

BEA EDI Connect for WebLogic Inegration Server リリース 7.0 SP2 のサポート対象プラットフォーム

表 6. BEA EDI Connect for WebLogic Inegration Server のサポート対象プラットフォーム (WebLogic Platform 7.0 SP2 で使用可能)

サーバコンポーネント	オペレーティングシステムとバージョン	システム要件	サポート対象 DBMS
Power.Enterprise Server! version 3.1	<ul style="list-style-type: none">■ Windows NT 4.0■ Windows 2000 SP2■ Sun Solaris 7■ Sun Solaris 8	<ul style="list-style-type: none">■ 最小 512 MB RAM、1 GB を推奨■ 100 MB のディスク空き容量	<ul style="list-style-type: none">■ Oracle 8.1.7■ Oracle 9i Release 1■ Oracle 9i Release 2

WebLogic Platform の設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

次の表は、WebLogic Portal コンポーネントで使用できるグラフィカル クライアント ツール E-Business Control Center などの、WebLogic Platform の設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム一覧です。

表	サポートされるプラットフォーム
表 7	WebLogic Platform 7.0 general availability (GA) リリース
表 8	WebLogic Platform 7.0 SP1
表 9	WebLogic Platform 7.0 SP2

リリース 7.0 GA の設計開発ツールのサポート対象 開発プラットフォーム

表 7. WebLogic Platform 7.0 GA リリース 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとパー ジョン	必須 JDK	システム要件
WebLogic Workshop IDE	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以降	JDK 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共 にインストールさ れる)	<ul style="list-style-type: none">■ Intel Pentium II 以降■ 400 MHz 以上■ 512 MB RAM を推奨■ TCP/IP ネットワーク イ ンタフェース
	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	JDK 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共 にインストールさ れる)	<ul style="list-style-type: none">■ Intel Pentium II 以降■ 400 MHz 以上■ 512 MB RAM を推奨■ TCP/IP ネットワーク イ ンタフェース
	Microsoft Windows XP	JDK 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共 にインストールさ れる)	<ul style="list-style-type: none">■ Intel Pentium II 以降■ 400 MHz 以上■ 512 MB RAM を推奨■ TCP/IP ネットワーク イ ンタフェース
	Red Hat Linux 7.2	JDK 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共 にインストールさ れる)	<ul style="list-style-type: none">■ Intel Pentium II 以降のプ ロセッサ■ 400 MHz 以上■ 512 MB RAM を推奨■ TCP/IP ネットワーク イ ンタフェース

表 7. WebLogic Platform 7.0 GA リリース 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとパー ジョン	必須 JDK	システム要件
E-Business Control Center	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1_03 (EBCC クライアン トと共にインス トールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ 60 MB のディスク空き容 量 ■ TCP/IP ネットワーク イ ンタフェース ■ 1024x768 ピクセルの画面 解像度
	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	JDK 1.3.1_03 (EBCC クライアン トと共にインス トールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ 60 MB のディスク空き容 量 ■ TCP/IP ネットワーク イ ンタフェース ■ 1024x768 ピクセルの画面 解像度

表 7. WebLogic Platform 7.0 GA リリース 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとパー ジョン	必須 JDK	システム要件
WebLogic Integration Client (Studio、 Worklist、Format Builder)	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	JDK 1.3.1_03 (WLI クライアントと共 にインストールさ れる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ 60 MB のディスク空き容 量 ■ TCP/IP ネットワーク イ ンタフェース
	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1_03 (WLI クライアントと共 にインストールさ れる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ WebLogic Server に必要 なディスク容量に加え、 10MB のディスク空き容 量 ■ TCP/IP ネットワーク イ ンタフェース
Contivo Analyst 3.5	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	JDK 1.3.1_02 (Contivo Analyst ソ フトウェアと共に インストールされ る)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上を推奨 ■ 256 MB RAM 以上を推奨 ■ 25 MB のディスク空き容 量 ■ TCP/IP ネットワーク イ ンタフェース
	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1_02 (Contivo Analyst ソ フトウェアと共に インストールされ る)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 256 MB RAM 以上を推奨 ■ 25 MB のディスク空き容 量 ■ TCP/IP ネットワーク イ ンタフェース

表 7. WebLogic Platform 7.0 GA リリース 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとパー ジョン	必須 JDK	システム要件
WebLogic Integration の BEA EDI Connect (別 売) クライアント コン ポーネント : Power.Enterprise Map!、 Power.Enterprise Manager! version 3.1	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	なし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最低 266 MHz Intel Pentium、400 MHz Pentium III を推奨 ■ 最小 128 MB RAM、256 MB RAM を推奨 ■ 50 MB のディスク空き容量 ■ Internet Explorer 5.x
	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以降	なし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最低 266 MHz Intel Pentium、400 MHz Pentium III を推奨 ■ 最小 128 MB RAM、256 MB RAM を推奨 ■ 50 MB のディスク空き容量 ■ Internet Explorer 5.x

サービスパック 1 の設計開発ツールのサポート対象開発プラットフォーム

表 8. WebLogic Platform 7.0 SP1 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとバージョン	必須 JDK	システム要件
WebLogic Workshop IDE	Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降	JRE 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none">■ Intel Pentium II 以降のプロセッサ■ 400 MHz 以上■ 512 MB RAM を推奨■ TCP/IP ネットワーク インタフェース
	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	JRE 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none">■ Intel Pentium II 以降のプロセッサ■ 400 MHz 以上■ 512 MB RAM を推奨■ TCP/IP ネットワーク インタフェース
	Red Hat Linux 7.2	JRE 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none">■ Intel Pentium II 以降のプロセッサ■ 400 MHz 以上■ 512 MB RAM を推奨■ TCP/IP ネットワーク インタフェース

表 8. WebLogic Platform 7.0 SP1 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティングシステムとバージョン	必須 JDK	システム要件
E-Business Control Center	Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降	■ JDK 1.3.1_03 (EBCC クライアントと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ 60 MB のディスク空き容量 ■ TCP/IP ネットワークインタフェース ■ 1024x768 ピクセルの画面解像度
WebLogic Integration Client (Studio、Worklist、Format Builder)	Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1_03 (WLI クライアントと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ WebLogic Server に必要なディスク容量に加え、10 MB のディスク空き容量) ■ TCP/IP ネットワークインタフェース

表 8. WebLogic Platform 7.0 SP1 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとバージョン	必須 JDK	システム要件
Contivo Analyst 3.6	Microsoft Windows NT 4.0 with Service Pack 6 以降	JRE 1.3.1_03 (Contivo Analyst ソフトウェアと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上を推奨 ■ 256 MB RAM 以上を推奨 ■ 25 MB のディスク空き容量 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース
	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以上	JRE 1.3.1_03 (Contivo Analyst ソフトウェアと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 256 MB RAM 以上を推奨 ■ 25 MB ディスク空き容量 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース

表 8. WebLogic Platform 7.0 SP1 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティングシステムとバージョン	必須 JDK	システム要件
WebLogic Integration の BEA EDI Connect (別売) クライアント コンポーネント : Power.Enterprise Map!、Power.Enterprise Manager! version 3.1	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	なし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最低 266 MHz Intel Pentium、400 MHz Pentium III を推奨 ■ 最小 128 MB RAM、256 MB RAM を推奨 ■ 50 MB のディスク空き容量 ■ Internet Explorer 5.x
	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以降	なし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最低 266 MHz Intel Pentium、400 MHz Pentium III を推奨 ■ 最小 128 MB RAM、256 MB RAM を推奨 ■ 50 MB のディスク空き容量 ■ Internet Explorer 5.x

サービスパック 2 の設計開発ツールのサポート対象開発プラットフォーム

表 9. WebLogic Platform 7.0 SP2 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとバージョン	必須 JDK	システム要件
WebLogic Workshop IDE	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	JRE 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降のプロセッサ ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース
	Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降	JRE 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降のプロセッサ ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース
	Microsoft Windows 2000 Server + Service Pack 2 以降	JRE 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降のプロセッサ ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース
	Microsoft Windows 2000 Advanced Server + Service Pack 2 以降	JRE 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降のプロセッサ ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース

表 9. WebLogic Platform 7.0 SP2 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティングシステムとバージョン	必須 JDK	システム要件
WebLogic Workshop IDE (続き)	Microsoft Windows XP	JRE 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降のプロセッサ ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワークインタフェース
	Red Hat Linux 7.2	JRE 1.4 (WebLogic Workshop IDE と共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降のプロセッサ ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワークインタフェース
E-Business Control Center	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	JDK 1.3.1_06 (EBCC クライアントと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワークインタフェース ■ 1024x768 ピクセルの画面解像度
	Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1_06 (EBCC クライアントと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ 60 MB のディスク空き容量 ■ TCP/IP ネットワークインタフェース ■ 1024x768 ピクセルの画面解像度

表 9. WebLogic Platform 7.0 SP2 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとバージョン	必須 JDK	システム要件
E-Business Control Center (続き)	Microsoft Windows 2000 Server + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1_06 (EBCC クライアントと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース ■ 1024x768 ピクセルの画面解像度
	Microsoft Windows 2000 Advanced Server + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1_06 (EBCC クライアントと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース ■ 1024x768 ピクセルの画面解像度
	Microsoft Windows XP	JDK 1.3.1_06 (EBCC クライアントと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース ■ 1024x768 ピクセルの画面解像度

表 9. WebLogic Platform 7.0 SP2 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティングシステムとバージョン	必須 JDK	システム要件
WebLogic Integration Client (Studio、Worklist、Format Builder)	Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1_06 (WLI クライアントと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ WebLogic Server に必要なディスク容量に加え、10 MB のディスク空き容量) ■ TCP/IP ネットワークインタフェース
	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	JDK 1.3.1_06 (WLI クライアントと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 512 MB RAM を推奨 ■ WebLogic Server に必要なディスク容量に加え、10 MB のディスク空き容量) ■ TCP/IP ネットワークインタフェース

表 9. WebLogic Platform 7.0 SP2 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとバージョン	必須 JDK	システム要件
Contivo Analyst 3.7	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	JRE 1.3.1_06 (Contivo Analyst ソフトウェアと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上を推奨 ■ 256 MB RAM 以上を推奨 ■ 25 MB のディスク空き容量 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース
	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以上	JRE 1.31_06 (Contivo Analyst ソフトウェアと共にインストールされる)	<ul style="list-style-type: none"> ■ Intel Pentium II 以降 ■ 400 MHz 以上 ■ 256 MB RAM 以上を推奨 ■ 25 MB ディスク空き容量 ■ TCP/IP ネットワーク インタフェース

表 9. WebLogic Platform 7.0 SP2 設計開発ツールのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティングシステムとバージョン	必須 JDK	システム要件
BEA EDI Connect for WebLogic Integration 用の実行時コンポーネント (EDI Connect は別途購入可能なオプション コンポーネント) クライアント コンポーネント :	Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	なし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最小 266 MHz Intel Pentium 以上、400 MHz Pentium III 推奨 ■ 最小 128 MB RAM 以上、256 MB RAM 推奨 ■ 50 MB ディスク空き容量 ■ Internet Explorer 5.x
Power.Enterprise Map! および Power.Enterprise Manager! version 3.1	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以上	なし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 最小 266 MHz Intel Pentium 以上、400 MHz Pentium III 推奨 ■ 最小 128 MB RAM 以上、256 MB RAM 推奨 ■ 50 MB ディスク空き容量 ■ Internet Explorer 5.x

サポート対象データベースおよびドライバ

WebLogic Platform 7.0 では、次のデータベース関連リソースが必要です。

- ローカル ネットワークにインストールされているデータベース サーバへのアクセス
- テーブルを使用したデータベースを作成するのに十分な特権を持つ、データベース サーバアカウント

ここでは、WebLogic Platform 7.0、SP1 および SP2 でサポートされているデータベースおよび必要なドライバを示します。

表	WebLogic Platform のバージョン
表 10	7.0 GA (General Availability)
表 11	7.0 SP1
表 12	7.0 SP2

これらの表で説明されているデータベースがご使用のプラットフォームでサポートされているかどうかを確認するには、表 1、表 2 および表 3 を参照してください。

注意： サポートされている各データベースに必要な JDBC ドライバは、BEA WebLogic Server 配布キットに付属しています。WebLogic.jar ファイルには、適用可能なクラスファイルがあります。

リリース 7.0 のサポート対象データベースおよびドライバ

表 10. WebLogic Platform 7.0 GA リリースのサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
PointBase 4.2	<ul style="list-style-type: none"> ■ デフォルト 	<p>WebLogic Platform には、コード サンプルの実行を可能にする PointBase ソフトウェア、つまりピュア Java リレーショナル管理システム (RDBMS) が同梱されています。PointBase は設計、開発およびアプリケーションの開発に対してサポートされません。プロダクションサーバのデプロイメントはサポートされません。プロダクション環境で使うには、特別な PointBase プロダクションライセンスを購入してください。</p>
Oracle 8.1.7	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Thin ドライバ 8.1.7 ■ Oracle Thin/XA ドライバ 8.1.7¹ ■ BEA WebLogic jDriver for Oracle² 	<p>WebLogic Server で Oracle Thin Driver をコンフィグレーションする方法については、次の URL の「WebLogic Server でのサードパーティドライバの使い方」を参照してください。</p> <p>http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/jdbc/thirdparty.html</p>

表 10. WebLogic Platform 7.0 GA リリースのサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
Oracle 9i	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Thin ドライバ 9.0.1 ■ Oracle Thin/XA ドライバ 9.0.1¹ ■ BEA WebLogic jDriver for Oracle² 	<p>WebLogic Server で Oracle Thin Driver をコンフィグレーションする方法については、『<i>WebLogic JDBC プログラマーズガイド</i>』の「WebLogic Server でのサードパーティドライバの使い方」を参照してください。このドキュメントは次の URL の WebLogic Server ドキュメントセットから入手できます。</p> <p>http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/jdbc/thirdparty.html</p>
MS SQL Server 7.0 Service Pack 3 ³	BEA WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server	<p>WebLogic Server 7.0 配布キット同梱の BEA の WebLogic jDriver for Microsoft SQL は、ピュア Java の Type 4 JDBC ドライバであり、Microsoft SQL Server への接続を提供します。</p> <p>WebLogic Portal を除くすべての WebLogic Platform コンポーネントは、Windows NT および Windows 2000 SP2 上で Microsoft SQL Server 7.0 をサポートします。</p> <p>Microsoft SQL Server ライセンス機能は、WebLogic Server をインストールした BEA ホーム ディレクトリ内のライセンスファイルにあります。例：</p> <p><code>c:\¥bea¥license.bea</code></p> <p>詳細については、次の URL の『<i>WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server のインストールと使い方</i>』を参照してください。</p> <p>http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/mssqlserver4/index.html</p>

表 10. WebLogic Platform 7.0 GA リリースのサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
MS SQL Server 2000 Service Pack 1	BEA WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server	<p>WebLogic Server 7.0 配布キット同梱の BEA WebLogic jDriver for Microsoft SQL は、ピュア Java の Type 4 JDBC ドライバであり、Microsoft SQL Server への接続を提供します。</p> <p>Microsoft SQL Server ライセンス機能は、WebLogic Server をインストールした BEA ホーム ディレクトリ内のライセンスファイルにあります。例： c:\¥bea¥license.bea</p> <p>詳細については、次の URL の『<i>WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server</i> のインストールと使い方』を参照してください。 http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/mssqlserver4/index.html</p>

1. WebLogic Portal または WebLogic Integration ではサポートなし

2. WebLogic Server は WebLogic jDriver for Oracle 8.1.7 and Oracle 9.0.1 の XA および非 XA バージョンをともにサポートします。WebLogic Integration と WebLogic Portal は WebLogic jDriver for Oracle をサポートしません。

3. WebLogic Portal ではサポートなし

サービス パック 1 のサポート対象データベースおよびドライバ

表 11. WebLogic Platform 7.0 SP1 のサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
DB2 7.2	IBM DB2 Type 2 driver	<p>すべての WebLogic Platform コンポーネント (WebLogic Server、WebLogic Workshop、WebLogic Integration および WebLogic Portal) は IBM AIX 5L v5.1 platform でサポートされていますが、WebLogic Workshop は DB2 をサポートしていません。</p> <p>WebLogic Server と WebLogic Integration は SuSE Linux for IBM zSeries S/390 と DB2 の組み合わせ上でサポートされています。</p> <p>WebLogic Integration コンポーネントをインストール後、<code>setenv.sh</code> ファイルに <code>DB2_HOME</code> 環境変数を定義してください。</p> <p>BEA WebLogic Server で IBM DB2 Type 2 ドライバをコンフィグレーションする方法については、『<i>WebLogic JDBC プログラマーズ ガイド</i>』の「WebLogic Server でのサードパーティドライバの使い方」を参照してください。このドキュメントは次の URL の WebLogic Server ドキュメント セットから入手できます。</p> <p>http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/jdbc/thirdparty.html</p>

表 11. WebLogic Platform 7.0 SP1 のサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
Oracle 8.1.7 ¹	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Thin driver 8.1.7 ■ Oracle Thin/XA driver 8.1.7² ■ Oracle Thin driver 9.2.0 ■ Oracle Thin/XA driver 9.2.0² ■ BEA WebLogic jDriver for Oracle³ 	<p>WebLogic Server で Oracle Thin Driver をコンフィグレーションする方法については、『<i>WebLogic JDBC プログラマーズガイド</i>』の「WebLogic Server でのサードパーティドライバの使い方」を参照してください。このドキュメントは次の URL の WebLogic Server ドキュメントセットから入手できます。</p> <p>http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/jdbc/thirdparty.html</p>
Oracle 9i Release 1	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Thin ドライバ 9.0.1 	<p>SuSE Linux for IBM zSeries/S390 プラットフォーム上において WebLogic Server と WebLogic Integration でサポートされます。</p>
Oracle 9i Release 2	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Thin ドライバ 9.2.0 ■ Oracle Thin/XA ドライバ 9.2.0^{2, 4} ■ BEA WebLogic jDriver for Oracle³ 	<p>WebLogic Portal は Thin ドライバでのみ動作確認されています。WebLogic Server および WebLogic Integration は Thin/XA ドライバで動作確認されています。</p> <p>SuSE Linux 390 for IBM zSeries/S390 上では、このデータベースは WebLogic Server および WebLogic Integration でのみサポートされます。</p> <p>WebLogic Server で Oracle Thin Driver をコンフィグレーションする方法については、『<i>WebLogic JDBC プログラマーズガイド</i>』の「WebLogic Server でのサードパーティドライバの使い方」を参照してください。このドキュメントは次の URL の WebLogic Server ドキュメントセットから入手できます。</p> <p>http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/jdbc/thirdparty.html</p>

表 11. WebLogic Platform 7.0 SP1 のサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
MS SQL Server 7.0 Service Pack 3 ⁵	BEA WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server	<p>WebLogic Server 7.0 配布キット同梱の BEA の WebLogic jDriver for Microsoft SQL は、ピュア Java の Type 4 JDBC ドライバであり、Microsoft SQL Server への接続を提供します。</p> <p>WebLogic Portal を除くすべての WebLogic Platform コンポーネントは、Windows NT および Windows 2000 SP2 で Microsoft SQL Server 7.0 をサポートします。</p> <p>Microsoft SQL Server ライセンス機能は、WebLogic Server をインストールした BEA ホーム ディレクトリ内のライセンス ファイルにあります。例： <code>c:\¥bea¥license.bea</code></p> <p>詳細については、次の URL の『<i>WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server のインストールと使い方</i>』を参照してください。 http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/mssqlserver4/index.html</p>

表 11. WebLogic Platform 7.0 SP1 のサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
MS SQL Server 2000 Service Pack 1	<ul style="list-style-type: none"> ■ BEA WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server ■ MS SQL Server Type 4 Driver for SQL Server 2000⁵ 	<p>WebLogic Server 7.0 配布キット同梱の BEA の WebLogic jDriver for Microsoft SQL は、ピュア Java の Type 4 JDBC ドライバであり、Microsoft SQL Server への接続を提供します。</p> <p>WebLogic Portal を除くすべての WebLogic Platform コンポーネントは、Windows NT および Windows 2000 SP2 で Microsoft SQL Server 7.0 をサポートしません。</p> <p>Microsoft SQL Server ライセンス機能は、WebLogic Server をインストールした BEA ホーム ディレクトリ内のライセンス ファイルにあります。例： <code>c:\¥bea¥license.bea</code></p> <p>詳細については、次の URL の『<i>WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server のインストールと使い方</i>』を参照してください。 http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/mssqlserver4/index.html</p>

1. WebLogic Server は Oracle Thin Driver for Oracle 8.1.7 および Oracle 9i Release 2 の、XA バージョンおよび非 XA バージョンの両方をサポートします。

2. WebLogic Portal または WebLogic Integration ではサポートなし

3. WebLogic Integration と WebLogic Portal は Oracle jDriver をサポートしていません。WebLogic Server と WebLogic Workshop は Oracle jDriver をサポートしていますが、SuSE Linux for IBM zSeries/S390 との組み合わせはサポートしていません。

4. Oracle Thin/XA Driver 9.2.0 と Oracle 9.2.0 データベースおよびトランザクションを使用した場合の問題については、次の URL にある WebLogic Server 7.0 SP2 『リリース ノート』の「確認済みの問題」を参照してください。

http://edocs.beasys.co.jp/wls/docs70/notes/issues.html#jdriver_known_issues_sp2

サービス パック 2 のサポート対象データベースおよびドライバ

表 12. WebLogic Platform 7.0 SP2 のサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
PointBase 4.2	■ デフォルト	WebLogic Platform には、コード サンプルの実行を可能にする PointBase ソフトウェア、つまりピュア Java リレーショナル管理システム (RDBMS) が同梱されています。PointBase は開発用にのみ提供されています。プロダクション環境で使うには、特別な PointBase プロダクション ライセンスを購入してください。
Oracle 8.1.7 ¹	■ Oracle Thin driver 8.1.7 ■ Oracle Thin/XA driver 8.1.7 ² ■ Oracle Thin driver 9.0.1 ■ Oracle Thin/XA driver 9.0.1 ² ■ Oracle Thin driver 9.2.0 ■ Oracle Thin/XA driver 9.2.0 ² ■ BEA WebLogic jDriver for Oracle ³	WebLogic Server で Oracle Thin Driver をコンフィグレーションする方法については、『WebLogic JDBC プログラマーズガイド』の「WebLogic Server でのサードパーティドライバの使い方」を参照してください。このドキュメントは次の URL の WebLogic Server ドキュメント セットから入手できます。 http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/jdbc/thirdparty.html
Oracle 9i Release 1 ¹	■ Oracle Thin driver 9.0.1 ■ Oracle Thin/XA driver 9.0.1 ²	WebLogic Platform 7.0 SP2 がサポートされるすべてのプラットフォーム上で、WebLogic Server と WebLogic Integration のみサポートされます。

表 12. WebLogic Platform 7.0 SP2 のサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
Oracle 9i Release 2 ¹	<ul style="list-style-type: none"> ■ Oracle Thin driver 9.0.1 ■ Oracle Thin/XA driver 9.0.1² ■ Oracle Thin driver 9.2.0 ■ Oracle Thin/XA driver 9.2.0^{2,4} ■ BEA WebLogic jDriver for Oracle³ 	<p>WebLogic Portal は Thin ドライバでのみ動作確認されています。WebLogic Server および WebLogic Integration は Thin/XA ドライバで動作確認されています。</p> <p>WebLogic Server で Oracle Thin Driver をコンフィグレーションする方法については、『<i>WebLogic JDBC プログラマーズガイド</i>』の「WebLogic Server でのサードパーティドライバの使い方」を参照してください。このドキュメントは次の URL の WebLogic Server ドキュメントセットから入手できます。</p> <p>http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/jdbc/thirdparty.html</p>

表 12. WebLogic Platform 7.0 SP2 のサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
MS SQL Server 7.0 Service Pack 3 ²	BEA WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server	<p>WebLogic Server 7.0 配布キット同梱の BEA の WebLogic jDriver for Microsoft SQL は、ピュア Java の Type 4 JDBC ドライバであり、Microsoft SQL Server への接続を提供します。</p> <p>WebLogic Portal を除くすべての WebLogic Platform コンポーネントは、Windows NT および Windows 2000 SP2 で Microsoft SQL Server 7.0 をサポートします。</p> <p>Microsoft SQL Server ライセンス機能は、WebLogic Server をインストールした BEA ホーム ディレクトリ内のライセンス ファイルにあります。例： <code>c:\¥bea¥license.bea</code></p> <p>詳細については、次の URL の『<i>WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server のインストールと使い方</i>』を参照してください。 http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/mssqlserver4/index.html</p>

表 12. WebLogic Platform 7.0 SP2 のサポート対象データベース タイプおよびドライバ

データベース タイプ	JDBC ドライバ	注
MS SQL Server 2000 SP1 および SP2 ⁵	<ul style="list-style-type: none"> ■ BEA WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server ■ MS SQL Server Type 4 Driver for SQL Server 2000³ 	<p>WebLogic Server 7.0 配布キット同梱の BEA の WebLogic jDriver for Microsoft SQL は、ピュア Java の Type 4 JDBC ドライバであり、Microsoft SQL Server への接続を提供します。</p> <p>WebLogic Portal と WebLogic Integration を除くすべての WebLogic Platform コンポーネントは、MS SQL Server Type 4 Driver for SQL Server 2000 をサポートします。</p> <p>Microsoft SQL Server ライセンス機能は、WebLogic Server をインストールした BEA ホーム ディレクトリ内のライセンス ファイルにあります。例： c:¥bea¥license.bea</p> <p>詳細については、次の URL の『<i>WebLogic jDriver for Microsoft SQL Server のインストールと使い方</i>』を参照してください。 http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/docs70/mssqlserver4/index.html</p>
Sybase 12.5 ⁶	Sybase jConnct 5.5	<p>Sybase jConnect 5.5 (jconn2.jar) は weblogic.jar と共に <code>WL_HOME\server\lib</code> フォルダ (where <code>WL_HOME</code> は WebLogic Server のインストールフォルダ) にインストールされます。weblogic.jar のマニフェストにはこのファイルがリストされており、weblogic.jar のロード時 (サーバの起動時) にロードできます。</p>

1. WebLogic Server と WebLogic Integration は Oracle Thin Driver for Oracle 8.1.7、Oracle Thin Driver for Oracle 9i Release 1 および Oracle Thin Driver for Oracle 9i Release 2 の、XA バージョンおよび非 XA バージョンの両方をサポートします。

2. WebLogic Portal ではサポートなし

3. WebLogic Portal または WebLogic Integration ではサポートなし

4. Oracle Thin/XA Driver 9.2.0 と Oracle 9.2.0 データベースおよびトランザクションを使用した場合の問題については、次の URL にある WebLogic Server 7.0 SP2 『リリース ノート』の「確認済みの問題」を参照してください。

http://edocs.beasys.co.jp/wls/docs70/notes/issues.html#jdriver_known_issues_sp2

5. Microsoft が SQL Server 2000 SP2 で推奨している適切なパッチが適用されていることを確認してください。詳細については、<http://support.microsoft.com> を参照してください。

6. WebLogic Integration または WebLogic Workshop ではサポートなし

サポート対象 Web サーバ

この節では WebLogic Platform 7.0 でサポートされる Web サーバを示します。表 13 は、WebLogic Platform 7.0 general availability (GA) リリースでサポートされる Web サーバの一覧です。表 14 は、WebLogic Platform 7.0 SP1 でサポートされる Web サーバの一覧です。表 15 は、WebLogic Platform 7.0 SP1 でサポートされる Web サーバの一覧です。

リリース 7.0 のサポート対象 Web サーバ

表 13. WebLogic Platform 7.0 GA リリースでサポートされる Web サーバ

Web サーバ	プラットフォーム	注
Netscape Enterprise Server (iPlanet) 4.1	<ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降■ Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降■ Sun Solaris 7■ Sun Solaris 8	

表 13. WebLogic Platform 7.0 GA リリースでサポートされる Web サーバ

Web サーバ	プラットフォーム	注
Apache 1.3.13	<ul style="list-style-type: none"> ■ Sun Solaris 7 ■ Sun Solaris 8 ■ Red Hat Linux 7.2 	WebLogic Server はバージョン 1.3.9 以上を認定
Microsoft Internet Information Server (IIS) 4.0 および 5.0	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降 ■ Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降 	WebLogic Portal はバージョン 5.0 のみ認定

サービス パック 1 のサポート対象 Web サーバ

次の表は WebLogic Platform 7.0 SP1 でサポートされる Web サーバの一覧です。

表 14. WebLogic Platform 7.0 SP1 でサポートされる Web サーバ

Web サーバ	プラットフォーム	注
NetscapeEnterprise Server (iPlanet) 4.1 および Sun ONE Web Server 6.0	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降 ■ Microsoft Windows 2000 Server + Service Pack 2 以降 ■ Microsoft Windows 2000 Advanced Server + Service Pack 2 以降 ■ Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降 ■ Sun Solaris 7 ■ Sun Solaris 8 ■ HP-UX 11.0 および 11i ■ IBM AIX 5L v5.1 ML1 	

表 14. WebLogic Platform 7.0 SP1 でサポートされる Web サーバ

Web サーバ	プラットフォーム	注
<ul style="list-style-type: none"> ■ Apache 1.3.x ■ Apache 2.0.x 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Sun Solaris 7 ■ Sun Solaris 8 ■ Red Hat Linux 7.2 ■ HP-UX 11.0 および 11i ■ IBM AIX 5L v5.1 ML1 	WebLogic Server はバージョン 1.3.9 以上を認定
Microsoft Internet Information Server (IIS) 4.0 および 5.0	<ul style="list-style-type: none"> ■ Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降 ■ Microsoft Windows 2000 Server + Service Pack 2 以降 ■ Microsoft Windows 2000 Advanced Server + Service Pack 2 以降 ■ Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降 	WebLogic Portal はバージョン 5.0 のみ認定
Sun ONE Web Server 6.0	Red Hat Linux 7.2	
HP Apache-based Web server 1.3.26.05	HP-UX 11i	HP Apache-based Web server 1.3 と WebLogic Proxy プラグインでの問題を解決したリリース 1.3.26.06 は次のサイトでダウンロードできます。 http://www.hp.com

リリース 7.0 SP2 のサポート対象 Web サーバ

次の表は WebLogic Platform 7.0 SP2 でサポートされる Web サーバの一覧です。

表 15. WebLogic Platform 7.0 SP2 でサポートされる Web サーバ

Web サーバ	プラットフォーム	注
Netscape Enterprise Server (iPlanet) 4.1 および Sun ONE Web Server 6.0	■ Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降	
	■ Microsoft Windows 2000 Server + Service Pack 2 以降	
	■ Microsoft Windows 2000 Advanced Server + Service Pack 2 以降	
	■ Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	
	■ Microsoft Windows XP	
	■ Sun Solaris 7 Sun Solaris 8 Sun Solaris 9	
■ Apache 1.3.x	■ Sun Solaris 7	WebLogic Server はバージョン 1.3.9 以上を動作確認
■ Apache 2.0.x	■ Sun Solaris 8	
	■ Sun Solaris 9	
	■ Red Hat Linux 7.2	
Microsoft Internet Information Server (IIS) 4.0 および 5.0	■ Microsoft Windows 2000 Professional Edition + Service Pack 2 以降	WebLogic Portal はバージョン 5.0 のみ動作確認
	■ Microsoft Windows 2000 Server + Service Pack 2 以降	
	■ Microsoft Windows 2000 Advanced Server + Service Pack 2 以降	
	■ Microsoft Windows NT 4.0 + Service Pack 6 以降	
	■ Microsoft Windows XP	
Sun ONE Web Server 6.0	Red Hat Linux 7.2	

サポート対象 Web ブラウザ

この節では、WebLogic Platform 7.0 general availability (GA) リリース、7.0 SP1 および 7.0 SP2 リリースで、アプレットをサポートするためにサポートするブラウザバージョンと Java プラグインを示します。

表 16. BEA WebLogic Platform 7.0 リリースのサポート対象 Web ブラウザ

ブラウザ r	必要なプラグイン	WebLogic Platform 7.0 GA	WebLogic Platform 7.0 SP1	WebLogic Platform 7.0 SP2
Microsoft Internet Explorer 5.0 以上	Sun Java Plug-In 1.2	x	x	x
	Sun Java Plug-In 1.3	x	x	x
Netscape Navigator 4.7 以上	Sun Java Plug-In 1.2	x	x	x
	Sun Java Plug-In 1.3	x	x	x
Netscape Communicator 4.7 for HP-UX	—	—	x	—
Netscape Communicator 6.2 for HP-UX	Runtime Plug-in for HP-UX Java edition は次のサイトから入手できます。 http://www.hp.com	—	x	—

サポート対象ファイアウォール

WebLogic Platform は、ファイアウォールなど、ネットワークプロトコルおよび 7 階層ネットワークモデルに適切に対応するデバイスをサポートします。BEA は、WebLogic Platform とネットワークデバイス間の通信の問題について根本原因分析を行い、WebLogic Platform 製品側の問題には適宜対応しま

すが、ネットワーク デバイス側の問題には対応できません。次に挙げるファイアウォール テストは WebLogic Platform で行われたもので、参考情報として示されています。

表 17. WebLogic Platform リリース 7.0 のサポート対象ファイアウォール

対象コンポーネント ...	テスト済みファイアウォール ...	WebLogic Platform 7.0 GA	WebLogic Platform 7.0 SP1	WebLogic Platform 7.0 SP2
WebLogic Integration	Checkpoint Firewall-1 Version 4.2 (サービス パック 5)	x	x	x
	Cisco Secure PIX Firewall Model 506 Version 6.1 (Microsoft IIS 5.0 と Windows 2000 Server Service Pack 2 上で動作する WebLogic Server 7.0 IIS Plug-In が必要)	x	x	x
WebLogic Portal	Checkpoint VPN-1 SmallOffice for 25 IP addresses	x	x	x
WebLogic Server	Checkpoint Firewall-1 version 4.1	—	x	x

ディスクスペース要件

次の表に、インストール後の WebLogic Platform コンポーネントのディスク容量の要件を示します。表中の値に加えて、インストールプログラムの容量 (Web ダウンロードからインストールする場合は)、およびインストール処理用の一時ディスク容量が必要です。一般に、インストールプログラムは、インストールされるファイルに必要な一時容量の約 2.5 倍の容量を必要とします。

表 18. 永久的なディスク容量の要件

製品	サブコンポーネント	必要なディスク容量
WebLogic Platform	なし	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows - 525 MB (JRockit 用の 35MB、SDK 用の 60MB およびサンプル用の 125 MB を含む) ■ UNIX - 500 MB (JRockit 用の 41MB、SDK 用の 50MB およびサンプル用の 180 MB を含む)
WebLogic Server (WebLogic Workshop と併用)	サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows - 215 MB (SDK 用の 35MB、全コンポーネント共通の 30 MB を含む) ■ UNIX - 180 MB (SDK 用の 50MB、全コンポーネント共通の 30 MB を含む)
	サンプル	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows - 35 MB ■ UNIX - 50 MB
WebLogic Integration	サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows - 185 MB (SDK 用の 35MB、全コンポーネント共通の 30 MB を含む) ■ UNIX - 216 MB (SDK 用の 50MB、全コンポーネント共通の 30 MB を含む)
	サンプル	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows - 36 MB ■ UNIX - 36 MB
	クライアント	36 MB (Windows)

表 18. 永久的なディスク容量の要件

製品	サブコンポーネント	必要なディスク容量
WebLogic Portal	サーバ	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows - 170 MB (SDK 用の 35MB、全コンポーネント共通の 30MB を含む) ■ UNIX - 190 MB (SDK 用の 50MB、全コンポーネント共通の 30MB を含む)
	サンプル	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows - 60 MB ■ UNIX - 65 MB
EBCC		<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows - 60 MB ■ UNIX - 62 MB

以前のリリースのサポート対象プラットフォーム

WebLogic Platform 7.0 製品コンポーネントの前リリースのサポート対象プラットフォーム情報は、次のとおりです。

- WebLogic Server の動作確認状況のページには、WebLogic Server 7.0 だけでなく WebLogic Server の以前の各リリースのサポート対象情報も記載されています。このページは次の URL にあります。

<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/wls/certifications/certifications/index.html>

- WebLogic Integration の以前のリリースのプラットフォーム サポート情報は、次の URL にあります。

http://www.bea.com/products/weblogic/integration/supported_platforms.shtml

- WebLogic Portal では、製品の各リリースに対するインストールガイドの「サポート対象プラットフォーム」の章にプラットフォーム サポート情報が

記載されています。WebLogic Portal の以前のリリースのインストールガイドは、次の URL の BEA e-docs WEB サイトから入手できます。

<http://edocs.beasys.co.jp/e-docs/index.html>

日本語環境における動作確認について

日本 BEA システムズ（株）では、BEA で認定された多数のプラットフォーム、Java 仮想マシン（JVM）、およびオペレーティング システム の組み合わせの中から、いくつかの環境に対して、日本語環境での動作確認を実施しています。日本語環境における動作が確認された組み合わせを以下の表に示します。

この表に載っていない組み合わせについても、このマニュアルの中で認定されているプラットフォームについては、BEA のサポートプラットフォームに関する方針に基づいて、サポートを行います（BEA のサポートプラットフォームに対する方針については「重要なサポート情報」を参照してください）。

また、日本語環境における動作確認は、継続して進められており、以下の表にない組み合わせについても、すでに動作確認作業が行われている可能性があります。詳細と最新情報については、日本 BEA システムズ営業グループ、もしくは、販売代理店にお問い合わせください。

なお、WebLogic Server の日本語環境における動作確認については、WebLogic Server の『動作確認状況』を参照してください。

WebLogic Platform 7.0 SP1 の日本語環境における動作確認状況

表 1. WebLogic Platform 7.0 SP1 の日本語環境における動作確認状況

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとパー ジョン	JDK	DBMS
WebLogic Portal	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1 (製品に 付属しているパー ジョン)	■ MS SQL Server 2000 ■ Oracle 8.1.7 ■ PointBase 4.2
	Solaris 8	JDK 1.3.1 (製品に 付属しているパー ジョン)	■ Oracle 8.1.7 ■ Oracle 9i Release2
	RedHat Linux 7.2	JDK 1.3.1 (製品に 付属しているパー ジョン)	■ Oracle 8.1.7
	HP-UX11i	JDK 1.3.1 (製品に 付属しているパー ジョン)	■ Oracle 8.1.7
EBCC	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1 (製品に 付属しているパー ジョン)	
WebLogic Integration	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2 以降	JDK 1.3.1 (製品に 付属しているパー ジョン)	■ Oracle 9i Release2 ■ SQL Server 2000
	Solaris 8	JDK 1.3.1 (製品に 付属しているパー ジョン)	■ Oracle 8.1.7

表 1. WebLogic Platform 7.0 SP1 の日本語環境における動作確認状況

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとパー ジョン	JDK	DBMS
WebLogic Workshop (IDE)	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2	JDK 1.4.0 (製品に 付属しているパー ジョン)	
	RedHat Linux 7.2	JDK 1.4. (製品に付 属しているパー ジョン)	
WebLogic Workshop (RunTime)	Solaris 8	JDK 1.3. (製品に付 属しているパー ジョン)	■ Pointbase 4.2
	RedHat Linux 7.2	JDK 1.3.1 (製品に 付属しているパー ジョン)	■ Pointbase 4.2
	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 2	JDK 1.3.1 (製品に 付属しているパー ジョン)	■ Pointbase 4.2
	HP-UX 11.0 HP-UX 11.11	JDK 1.3.1 (製品に 付属しているパー ジョン)	■ Pointbase 4.2

WebLogic Platform 7.0 SP2 の日本語環境における動作確認状況

表 2. WebLogic Platform 7.0 SP2 の日本語環境における動作確認状況

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとパー ジョン	JDK	DBMS
WebLogic Portal	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 3	Sun JDK 1.3.1_06	■ MS SQL Server 2000 SP1
		BEA WebLogic JRockit 7.0 SP2 1.3.1_06	■ PointBase 4.2
	Solaris 8	Sun JDK 1.3.1_06	■ Oracle 9.2.0
	Red Hat Linux Advanced Server release 2.1	BEA WebLogic JRockit 7.0 SP2 1.3.1_06	■ Oracle 8.1.7
	HP-UX 11.11	HP JDK 1.3.1.08-021127-23: 13	■ Oracle 8.1.7
WebLogic Integration	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 3	Sun JDK1.3.1_06	■ PointBase 4.2
		BEA WebLogic JRockit 7.0 SP2 1.3.1_06	■ Oracle 9.2.0
	Solaris 8	Sun JDK1.3.1_06	■ SQL Server 2000 SP1
	Red Hat Linux Advanced Server release 2.1	BEA WebLogic JRockit 7.0 SP2 1.3.1_06	■ Oracle 8.1.7
	HP-UX 11.11	HP JDK 1.3.1.08-021127-23: 13	■ Oracle 8.1.7

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとパー ジョン	JDK	DBMS
WebLogic Workshop (IDE)	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 3	JDK 1.4.0 (製品に 付属しているパー ジョン)	
	Red Hat Linux Advanced Server release 2.1	JDK 1.4.0 (製品に 付属しているパー ジョン)	
WebLogic Workshop (RunTime)	Solaris 8	Sun JDK 1.3.1_06	■ Pointbase 4.2
	Solaris 9	Sun JDK 1.3.1_06	■ Pointbase 4.2
	Red Hat Linux Advanced Server release 2.1	Sun JDK 1.3.1_06 BEA WebLogic JRockit 7.0 SP2 1.3.1_06	■ Pointbase 4.2
	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 3	Sun JDK 1.3.1_06 BEA WebLogic JRockit 7.0 SP2 1.3.1_06	■ Pointbase 4.2
	HP-UX 11.11	HP JDK 1.3.1.08-021127-23: 13	■ Pointbase 4.2

WebLogic Platform 7.0 SP4 の日本語環境における動作確認状況

表 3. WebLogic Platform 7.0 SP4 の日本語環境における動作確認状況

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとバー ジョン	JDK	DBMS
WebLogic Portal	Windows2000 Professional+ Service Pack 4	Sun JDK 1.3.1_08	■ Microsoft SQL Server 2000 SP3
		BEA WebLogic JRockit 7.0sp4-1.3.1_08	■ Oracle 9.2.0
	Solaris2.8	Sun JDK 1.3.1_08	■ Oracle 9.2.0
	Red Hat Linux Advanced Server release 2.1	BEA WebLogic JRockit 7.0 SP2 1.3.1_06	■ Oracle 8.1.7
	HP-UX 11.11	HP JDK 1.3.1.09-030418-12: 59	■ Oracle 9.2.0
	Red Hat Linux Advanced Server release 2.1	BEA WebLogic JRockit 7.0sp4-1.3.1_08	■ Oracle 8.1.7

WebLogic Platform コンポーネント	オペレーティング システムとパー ジョン	JDK	DBMS
WebLogic Integration	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack4	Sun JDK 1.3.1_08	■ Oracle 9.2.0
	Solaris2.8	Sun JDK 1.3.1_08	■ Oracle 9.2.0
	Red Hat Linux Advanced Server release 2.1	BEA WebLogic JRockit 7.0 SP2 1.3.1_06	■ Oracle 8.1.7
	HP-UX 11.11	HP JDK 1.3.1.09-030418-12: 59	■ Oracle 9.2.0
	Red Hat Linux Advanced Server release 2.1	Sun JDK 1.3.1_08	■ Oracle 9.2.0
WebLogic Workshop (IDE)	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack4	JDK 1.4.0 (製品に 付属しているパー ジョン)	■
	Red Hat Linux Advanced Server release 2.1	JDK 1.4.0 (製品に 付属しているパー ジョン)	■

WebLogic Workshop (RunTime)	Solaris 8	Sun JDK 1.3.1_08	■ Pointbase 4.2
	Solaris 9	Sun JDK 1.3.1_08	■ Pointbase 4.2
	Red Hat Linux Advanced Server release 2.1	Sun JDK 1.3.1_08 BEA WebLogic JRockit 7.0 SP2 1.3.1_08	■ Pointbase 4.2
	Microsoft Windows 2000 Professional + Service Pack 4	Sun JDK 1.3.1_08 BEA WebLogic JRockit 7.0 4 1.3.1_08	■ Pointbase 4.2
	HP-UX 11.11	HP JDK HP JDK 1.3.1.09-030418-12: 59	■ Pointbase 4.2
